



題 字
初代会長 松野 盛吉
定 価 1部 48円
(購読料は年会費に含む)

発行人
〒010-0951
秋田市山王四丁目1番2号
秋田地方総合庁舎内
秋田県消防協会
会長 中田 潤
電話 018-867-7320
FAX 018-863-5910
<http://www.shoubou-akita.or.jp>
E-mail:ask@shoubou-akita.or.jp

印 刷
〒010-0951
秋田市山王7丁目5-29
株式会社 松原印刷社
電話 018-862-8760
<http://www.matsubarainsatsu.co.jp>

平成二九年度
秋田県消防協会評議員会開催される
平成二八年度会計決算などを承認



一般財団法人秋田県消防協会の平成二九年度定時評議員会が五月二五日(木)、秋田市の「イヤタカ」で開催されました。

評議員会には、秋田県副知事堀井啓一様が来賓として出席されたほか、評議員二三名、理事・監事一二名が出席しました。

最初に殉職された消防職員・団員の御霊に黙祷を献げ、引き続き中田会長があいさつ、堀井副知事から祝辞をいただきました。

議事に入り、平成二八年度事業の概要報告や会計決算、また、任期満了に伴う監事三名の選任、辞任に伴う理事六名、評議員一〇名の選任などが審議されました。

なお、監事の任期は平成三二年度、理事は三〇年度、評議員は三二年度のそれぞれ定時評議員会の終結の時までとなります。

会長あいさつ



秋田県消防協会会長
中田 潤

ご来賓並びに評議員の皆様には、当協会の運営に対し、それぞれの地域において、格別なるご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

我々消防団を取り巻く環境は、益々厳しくなる中で、県内の消防団員数は、ピーク時の半数を下回り、一七、〇〇〇人を割り込みました。

この五年間で、実に七六五人減っております。

一方、新たに井川町、東成瀬村消防団に女性が入団するなど、女性消防団員は年々増加しておりますが、いざにいたしまして、団員の確保は、大変難しい課題であります。

県、市町村、それに我々協会も、それぞれの立場で役割をしっかりと果たしながら、団員確保という大きな課題に立ち向かっていくことが必要であると考えますので、皆様方のご支援、ご協力をお願い致します。

火の用心 ことばを形に 習慣に

平成二九年度全国統一防火標語

来賓祝辞



秋田県副知事
堀井 啓一

皆様には県民の安全・安心を守るために格別のご尽力を賜っておりまことに感謝申し上げます。

昨年秋田県においては、お陰様で大きな自然災害に遭わずに済んだ一年であったと思っております。

今年はこの五点についてご協力をお願いしたいと思います。

「火災予防・防火活動の充実」「山林火災を防ぐための取組み」「自然災害に対する備え」「熊など危ない山林に立ち入らない啓発活動」そして、「ミサイルに関連する訓練への理解」であります。

また、消防団員の確保については、県も深刻に考えており、様々な取組みを重ねて参ったところであります。

今年九月には全国女性消防操法大会が、地方では初めて秋田市で開催されますが、成功に向けて皆様のご協力をよろしくお願い致します。

■承認された議案

- ①平成二八年度事業の概要報告
- ②平成二八年度会計決算
- ③監査報告
- ④役員等の選任

*任期満了に伴い選任された監事

- 北林 義高 (上小阿仁村団長)
- 遠間 富和 (井川町団長)
- 富田 昭 (横手市横手団長)

*辞任に伴い選任された理事

- 土田 元 (秋田県総合防災課長)
- 齋藤 勉 (大館市団長)
- 高橋 正尚 (美郷町団長)
- 平良木 保 (横手市増田団長)
- 軍司 信幸 (湯沢市団長)
- 三浦 勝彦 (大館市消防長)

*辞任に伴い選任された評議員

- 成田 俊昭 (小坂町団長)
- 藤田 久悦 (北秋田市団長)
- 鈴木 敏信 (男鹿市団長)
- 伊藤 良勝 (潟上市団長)
- 渡部 壽一 (八郎潟町団長)
- 佐々木伸一 (にかほ市団長)
- 佐藤 一 (大仙市団長)
- 荒木田俊一 (仙北市団長)
- 高橋 良則 (横手市大雄団長)
- 佐々木謙吉 (東成瀬村団長)

■協議事項等

- ①平成二九年度事業計画及び収支予算
- ②平成三〇年度秋田県消防大会の開催支部 (第七一回大会は、横手市支部で開催します。)

③秋田県消防操法大会について

ア 今年度の秋田県大会の出場順は、五月九日開催の第一回理事会において決定した。

イ 県大会において「規律訓練」を披露することとしているが、現段階の出場希望は、能代市山本郡支部と横手市支部となっている。

ウ 県大会に「予備日」を設けることについて、理事会で検討した結果、今年度は九月二日(土)開催出来なかった場合は、中止とする。

平成三〇年度以降については、次回開催(八月)の理事会で最終決定する。

④第二三回全国女性消防操法・秋田大会について

四月一四日、日本消防会館において「運営委員会」が開催され、秋田市で開催することが決定、また、標的を変更することも併せて決定された。

『臨時理事会を開催』

定時評議員会終了後、臨時理事会を開催し、副会長の選定などを協議しました。その結果、草薨・成田両副会長の後任として、児玉誠喜理事(鹿角市団長)と高橋正尚理事(美郷町団長)が選任されました。

また、辞任された草薨、成田両氏は協会の顧問に選任されました。

第十一回東北水防技術競技大会

～秋田県代表北秋田市消防団～

水防技術の向上や水防体制の強化を目的とした「雄物川総合水防演習」が五月二八日(日)、秋田市茨島の雄物川河川敷で行われました。

雄物川流域

八市町村(秋田市・大仙市・

仙北市・美郷町・横手市・

湯沢市・羽後町・東成瀬村)

の水防団や自衛隊、地域住民など約千人

が参加し、堤防決壊を防ぐ対処法を確認したほか、避難訓練などを行いました。



また当日

は、東北水防技術競技大会が同時に実施され「月の輪工」と「シート張工」が行われました。

本県からは、北秋田市消防団が代表で出場しました。



(情報提供) 北秋田市消防本部

一般財団法人秋田県消防協会 理事・監事・評議員

(平成29年5月25日現在)

〔理事〕

役 職	氏 名	所属・階級等
会 長	中 田 潤	能代市消防団 団長
副 会 長	海 野 達 雄	秋田市消防団 団長
"	児 玉 誠 喜	鹿角市消防団 団長
"	高 橋 正 尚	美郷町消防団 団長
理 事	土 田 元	秋田県総務部総合防災課 課長
"	周 防 彦 宗	由利本荘市消防団 団長
"	一 関 鏡 一	五城目町消防団 団長
"	齋 藤 勉	大館市消防団 団長
"	平良木 保	横手市増田消防団 団長
"	軍 司 信 幸	湯沢市消防団 団長
"	佐 藤 好 幸	秋田市消防本部 消防長
"	森 川 正 明	大曲仙北広域市町村圏組合 消防本部 消防長
"	三 浦 勝 彦	大館市消防本部 消防長
業務執行理事	高 橋 尚 文	秋田県消防協会 事務局長

〔評議員〕

役 職	氏 名	関係する消防機関
評 議 員	成 田 俊 昭	小坂町消防団
"	澤 口 紀 夫	小坂町消防団
"	田 中 政 幸	鹿角広域行政組合消防本部
"	藤 田 久 悦	北秋田市消防団
"	小 山 初 美	藤里町消防団
"	金 子 忠 夫	三種町消防団
"	本 多 健	八峰町消防団
"	鈴 木 敏 信	男鹿市消防団
"	伊 藤 良 勝	潟上市消防団
"	渡 部 壽 一	八郎潟町消防団
"	谷 口 良 一	大潟村消防団
"	浅 井 学	男鹿地区消防一部事務組合消防本部
"	足 利 幸 雄	秋田市消防団
"	小野 甚左衛門	秋田市消防団
"	佐々木 伸 一	にかほ市消防団
"	金 子 英 紀	にかほ市消防団
"	佐 藤 一	大仙市消防団
"	荒木田 俊 一	仙北市消防団
"	菅 原 一 太郎	横手市平鹿消防団
"	塩 田 勉	横手市雄物川消防団
"	菊 池 二 郎	横手市大森消防団
"	細 川 祐 一	横手市十文字消防団
"	藤 原 博	横手市山内消防団
"	高 橋 良 則	横手市大雄消防団
"	大 石 義 孝	横手市消防本部
"	瀧 澤 将 史	羽後町消防団
"	佐々木 謙 吉	東成瀬村消防団
"	鈴 木 修	東成瀬村消防団

〔監 事〕

役 職	氏 名	所属・階級等
監 事	北 林 義 高	上小阿仁村消防団 団長
"	遠 間 富 和	井川町消防団 団長
"	富 田 昭	横手市横手消防団 団長

平成28年度決算〔正味財産増減計算書〕

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
経常収益計	30,233,895	29,900,275	333,620
主な内訳			
基本財産運用益	637	750	△ 113
受取会費(掛金)	5,611,500	5,604,600	6,900
事業収益	291,600	291,600	0
受取補助金等	12,949,315	12,737,478	211,837
受取負担金	5,094,060	5,077,045	17,015
受取寄付金(会費)	5,745,000	5,778,900	△ 33,900
その他経常収益	541,783	409,902	131,881
経常費用計	31,267,549	31,502,353	△ 234,804
主な内訳			
給与等	11,805,813	11,710,805	95,008
旅費交通費	3,714,206	3,615,875	98,331
消耗什器備品費	4,000,070	4,205,574	△ 205,504
印刷製本費	2,329,494	2,811,832	△ 482,338
支払助成金	1,544,680	1,456,921	87,759
委託費	1,709,702	1,658,460	51,242
互助会見舞金	1,760,000	1,640,000	120,000
その他経常費用	4,403,584	4,402,886	698
当期経常増減額	△ 1,033,654	△ 1,602,078	568,424
当期一般正味財産増減額	△ 1,033,654	△ 1,602,078	568,424
一般正味財産期首残高	111,124,114	112,726,192	△ 1,602,078
一般正味財産期末残高	110,090,460	111,124,114	△ 1,033,654
正味財産期末残高	110,090,460	111,124,114	△ 1,033,654
主な内訳			
基本財産	3,000,000	3,000,000	0

第七二期初任教育

一ヶ月を振り返って

秋田県消防学校



第七一期初任教育の在校生は、四月七日の入校式からもう二ヶ月が過ぎました。

入校当初、全く未知の分野である消防の教育訓練への不安、寮での共同生活への戸惑いなどが感じられたが、今ではみんなが協力して日々の学校生活を送っています。

教育訓練も五月に入ると、体力錬成、礼式訓練から消防基礎技術の習得へと移行し、現在では、空気呼吸機器取扱訓練、身体結索訓練などの実技訓練が本格化してきています。

こうした中、消防学校から「一ヶ月を振り返って」と題した作文が寄せられましたので紹介します。



二瓶 稔吾
(秋田市消防本部)

消防学校に入校して一ヶ月、私が感じることは一日の時間の早さである。教官の指導の下で自分のできる限り懸命に訓練、授業等に臨んではいるものの、半年間という短い期間の中で一人前の消防士になれるのか、非常に不安であり、これからの学校生活は時間を有効に使っていかなければならぬと感じているが、一方で意識の高い初任科の仲間たちと共に日々成長していると感じている。

また、この一ヶ月、「凡事徹底」を掲げて生活してきたことで、徐々にではあるが、細かい所にも目がいくようになってきたと感じている。自分が使用したものの整理整頓等を学校以外の場所でも常に心がけている。器具の点検など、細かい所にも目がいくよう、常日ごろからそういった所に気を配って行動していきたい。

また、あとわずか五ヶ月、学んだことや指導を受けたことを全て自分のものにできるようにし、節度を持った動作や言動を心がけ、市民から信頼を得られる消防士になれるよう努力をしていきたい。



芳賀 雄磨
(大館市消防本部)

消防学校に入校してからの一ヶ月間は、あつという間だったが、その中で私は自分に不足している部分、改善すべき部分を見直すことができた。

一つ目は体力面だ。体力測定が行われ、様々な種目に取り組んだ。その種目の中で私は、懸垂が特に劣っていることがわかった。自分の体を支えることができなくては、要救助者を救助することなどできない。これからは懸垂のトレーニングを放課後や休日の時間を活用し積極的に取り組んでいきたいと思う。

二つ目は学習面だ。授業や訓練では毎日新しいことを学ぶため、覚えることがどんどん増えていく。私はそれらで学んだことを忘れがちであったが、それでは、訓練で仲間の足を引っ張ってしまう。これからは、放課後や休日の時間を有効に使い、授業や訓練の予習、復習に一層力を入れていきたい。

消防学校の生活にも慣れてきた。だが、慣れは気を緩み易くする原因となる。これからは、より一層気を引き締め、事故のないように過ごしていきたい。



堀部 駿輝
(北秋田市消防本部)

この一ヶ月を振り返ると考え方や姿勢が大きく変化したと感じました。消防学校に入校して消防法などの勉強をするようになり、昨年経験した業務や、訓練の意味を考えながら行うようになりました。意味を理解して行うだけで訓練の質も全然違うのだと分かりました。

私は、入校してすぐの授業で貧血になり、倒れそうになったり、足をつつてしまったりと、自分はまだまだ体力も筋力も足りないのだと強く感じました。今のままでは、助けられる命も助けることができせん。消防士としての自覚を持ち、人命を助けるための体力や筋力をつけていきたいと思っています。

この一ヶ月間で勉学や体力、筋力、色々な力を伸ばすことができました。残り五ヶ月間は消防の基本となる消防法などを勉強し、根柢となる所を覚えていきたいと思っています。また、勉強と同時に人を助けるための筋力をつけていきたいと思っています。五ヶ月はすぐに終わってしまうと思います。一日を大切に毎日努力していきたいと思っています。



尾留川 剣汰
(由利本荘市消防本部)

消防学校に入校し、一ヶ月が経過したが、もう一ヶ月が経ったとの思いである。最初、六ヶ月間は長いと感じていたが、消防士になるにあたって必要である日々の座学や実技訓練を自分の力へと変えていくうちに学校生活は短いと感じるようになった。そして一緒に生活する仲間も存在も大きく、厳しい訓練や難しい座学に対し一緒に向き合い協力していくことも時間の経過を早くした。

しかし、時間の経過の早さとともに、残りの日数を意識してしまい、自分の存在が足を引っ張らないかと不安になったり、焦ったりすることがある。日々の時間を無駄なく効率良く使い、予習・復習を繰り返し行い、実技訓練の動き等を体に染みこませて完璧に覚え、自身を持って動けるように残りの日数を頑張つていきたい。地域を守る消防士として自覚と責任を持ち絶え間なく努力して地域の方々を胸を張って「消防士」ですと言えるような存在になりたい。



佐藤 梓
(横手市消防本部)

私はこの一ヶ月とても充実していたと思う。入校してから毎日、分からないことの連続でも不安だつた。訓練が始まり授業も本格的にスタートし、毎日覚えなくてはいけないことがあり大変だと思うが、仕事として生かせるように多くの知識を吸収したいという思いで過ごしてきた。私が一番苦労しているのは体力面だ。今まで、運動部の経験がない私にとって、体力練成は辛く感じる。しかし、体力がないと現場では活動できないと、この一ヶ月で強く感じた。ホースを担いで走るのも、体力がないと始まらない。この一ヶ月は放課後も自主トレーニングで頑張ってきた。今後も皆についていけるよう、トレーニングを継続していきたい。体力面で、皆に迷惑をかけたままにしていることが多くて申し訳ない気持ちでいっぱいだ。しかし、声をかけてくれる人や励ましてくれる人がいるので、前向きな気持ちで頑張りたい。そして「凡事徹底」という言葉を胸に、勉強、体力練成をこつこつと積み重ねて日々を大切にしていきたい。

入校して一ヶ月を振り返り、基礎となる座学や訓練を受ける中で、夢であった消防士として働いていくということを感じながらモチベーションを高め、取り組むことができたと思う。特に、他の消防本部の実務経験者の訓練中の動きを見て、とても良い刺激をもらった。



大森 依志樹
(鹿角広域行政
組合消防本部)

私は、「消防学校での生活に慣れ、生活リズムを掴む。」という目標を立てて過ごしてきた。日直の仕事や係の仕事を始めとし、どのように授業を進めていくか、また授業内容の理解をより深めるための予習・復習を大切にし、生活の中で時間を無駄にしないよう意識して一ヶ月を過ごしてきた。五月には効果測定が毎週のように入ってくるため、自分が理解できていない所を蔑ろにせず、授業外で理解し取り組んでいきたい。自習時間は効果測定だけでなく、資格取得のための勉強も早いうちから取りかかりたいと考えている。

給料を貰いながら勉強していることを忘れず、学んだことを着実に自分のものにし、一日一日を大切に過ごしていきたい。



中村 元気
(能代山本広域市町
村圏組合消防本部)

消防学校の初任教育が始まり、早くも一ヶ月が過ぎた。入校するまで一番不安だった寮生活にも慣れ、各消防本部の仲間達とも上手くコミュニケーションをとれるようになってきた。まだ序盤ということもあり、座学が中心の授業になっているが、これから様々な資器材を用いて、火災防御の活動が多くなってくると思う。私は実務経験者ではあるが、まだまだ現場での活動に不安がある中で、一つ一つの訓練でしっかりと現場をイメージしつつ実際の活動に繋がるように心がけている。

五月に入ると、続々と各教科での効果測定が実施される。放課後の時間を有効に使い、自習にも力を入れたいと思う。

また、勉強面だけではなく、体力の向上にも努めていきたいと思う。後に、二回実施される体力測定では、どちらも記録を更新できるよう怪我をせず体力練成に励みたいと思う。

あつという間に一ヶ月が過ぎたように、卒業まで時間は多くないので六二人全員で卒業できるよう、一日一日を大切に訓練、座学に臨みたいと思う。



船木 巨
(男鹿地区消防一部
事務組合消防本部)

消防学校入校前は、消防学校での生活や訓練についていけるのかすごく不安であったが、実際に入校し、一ヶ月を過ごしていく中で、不安が徐々に楽しさに変わっている。同期と毎日切磋琢磨しながら厳しい訓練をしていると、少しずつ自分が成長できていると感じているからだ。

また、最初の一ヶ月ということもあり、基本訓練の繰り返しだが、スポーツでも訓練でも全てにおいて、基本は、とても大事なことだと思う。基本ができなければ応用もできないし、今後の訓練全てが無駄になってしまうと思う。ロープ結索は消防活動をする中の基本中の基本である。何の操作をする上でもロープ結索は出てくる。速く、正確にロープ結索するために、何度も基本結索の練習をする。この毎日の積み重ねの成果を発揮できたのが、五月一日の実務研修だ。実務研修では、リレー方式の結索訓練を行ったが、どの結索も上手くできた。

今後新しい訓練がでてくるが、どんな訓練でも、自分で繰り返し練習し、自分のものにしていきたい。



高橋 孝輔
(湖東地区行政一部
事務組合消防本部)

入校して早くも一ヶ月が経ちました。最初は学校生活でのルールや訓練札式を覚えることで精一杯でした。次々と新しく覚えなければならぬことが増えていく日々が続き、予習と復習の毎日でした。一つ一つ覚えていくことで学校生活も新しく過ごせるようになってきました。

四月中に始まった訓練で、小型ポンプ操作や三連梯子が大変でした。いよいよ機器を使つての訓練で、それぞれの名称や動きの中での呼吸等覚えていくことが沢山ありました。授業時間が終わつてからも、自由時間の中で、その日に習ったことを復習して忘れないように確認しました。各教官からも復習することで、頭と体で確認することが大切であると教わりました。また、大事なことや細かいことはメモする癖をつけることで、後で分からなくなつた時に見直すことができるので、これからも継続していきたいです。

まだまだ学校生活は始まったばかりですが、気を引き締めて、楽しみながら一日一日を大事にしていきたいです。



武藤 壮
(大曲仙北広域市町
村圏組合消防本部)

一ヶ月が経過して沢山の指摘を教官の方々からいただきました。その中でも、何度も指摘されたことが二つあります。この二つを来月から一ヶ月間徹底していきたいと思えます。

一つ目は、「節度を持つ」ということです。動きに節度を持たせるということは、自分が思っているより大変で、エネルギーのいることでした。指揮者の声に集中し、指先まで神経を巡らせ、一気に動かなければなりません。節度ある行動は、現場においても求められる大切なことだと思います。日ごろの訓練札式からしっかりと意識して、節度ある行動を身に染みこませたいと思います。

二つ目は「大きな声を出す」ということです。どんなに辛い状況であっても、自分の感情を見せずに自らを鼓舞する声が必要だと思えます。そして何より命の危険がある現場の中で、要救助者に、届く声を出さなければいけません。そのためにも、普段からどんなに辛い訓練をやっているか、下を向かずに声を張り上げていきたいと思えます。



遠田 巨
(湯沢雄勝広域市町
村圏組合消防本部)

入校してから一ヶ月過ぎましたが、とても早く感じています。入校した当初は、何もかもが初めてで、戸惑いもありましたが、今は、少しずつ慣れてきました。訓練札式では、最初は節度ある行動が全くとできませんでしたが、意識することです。少しずつできるようになったと思います。訓練では、ポンプ操作や三連梯子を行いました。それぞれ動きがあつたり、結索があつたりと、様々なところで応用を使うことがあるので、放課後を有効に使つて覚えたいと思えます。座学は、やはり勉強しなければいけないので、頑張りたいと思えます。また、六法を有効に使つて頑張りたいです。

一ヶ月を過ごし、自分でも成長できたと思えますが、まだまだ頑張らなければならないことや、学ぶことが沢山あります。

これからの生活を大事に日々努力したいと思えます。





女性消防団ネットワーク会議

開催準備委員会

六月二日(金)、ルポールみずほ(秋田市山王)において、平成二九年度女性消防団ネットワーク会議「第一回開催準備委員会」を開催しました。

この委員会は、ネットワーク会議をより内容の充実したものにするため、主役である女性消防団員の意見を反映させることを目的としたものであります。

開催準備

委員(別掲)は、消防団幹部候補中央特別研修に参加された経験豊かな団員を、各消防団から一名選出し、九名の方に就任していただきました。

今回の委員会には八名が出席され、一月に開催するネットワーク会議の構成や内容などについて、様々な意見が出されました。

次回の委員会を八月に開催し、引き続き検討することとしました。



平成29年度秋田県消防操法大会支部大会日程

支部名	開催月日	開催場所
鹿角	7. 2(日)	鹿角市役所駐車場
大館北秋田	7.30(日)	北秋田市合川市民健康広場
能代市山本郡	7. 9(日)	能代港下浜岸壁埠頭
男鹿潟上南秋	8. 6(日)	秋田海陸運送船川5号定温倉庫敷地
秋田市	7. 9(日)	秋田市消防訓練場(秋田市御所野)
由利本荘にかほ	7.29(土)	にかほ市消防本部庁舎前
大仙仙北美郷	7.16(日)	大仙市雄物川河川緑地運動公園
横手市	7.30(日)	雄平橋上流河川敷運動広場(十文字地区)
湯沢市雄勝郡	7.30(日)	湯沢市稲川スキー場駐車場

平成29年度 開催準備委員会名簿

所 属	階 級	氏 名
鹿角市消防団	班 長	安保 千夏
大館市消防団	班 長	畠山留美子
秋田市消防団	班 長	松本 恵
由利本荘市消防団	班 長	佐藤 美子
にかほ市消防団	部 長	今野 裕子
大仙市消防団	班 長	一色 順子
仙北市消防団	班 長	西宮 三春
横手市平鹿消防団	部 長	伊勢 睦子
横手市山内消防団	団 員	畑 しのぶ

モリタ消防ポンプ シバウラポンプ
 桜ホース・ソフト吸管 消防被服一式
 各種消火器 消防機器一式

株式会社 能代消防センター
 株式会社 協 立

〒016-0814 能代市能代町字中川原33番地57
 TEL (0185) (52) 6494
 (52) 6361

地域の防災、災害対策に貢献!

消 防
 ポンプ自動車
 小型ポンプ
 ホース

設 備
 火災報知器
 スプリンクラー
 消火器

猿田興業株式会社

秋田市山王六丁目1番24号 TEL 018 (863) 1551(代)
 山王セントラルビル7F FAX 018 (824) 3651

支部情報アラカルト

『止まって・倒れて・転がって』

Ⅱにかほ市消防団Ⅱ

にかほ市消防団女性部では、平成二九年五月一二日(金)市内保育園にて、園児約二〇名を対象にした幼児防火教室を行いました。

女性部では、東日本大震災の被害地域を視察した経験から、災害時の自助の重要性を学んでもらうことを目的として、平成二三年度に小学生を対象に「地震・津波防災教室」を開始しました。

その後、幼稚園・保育園児を対象とした「幼児防火教室」を行っております。



一昨年度は小学生向け、昨年度は高齢者向けの教室を開催していた

め、保育園児向けの教室は約二年ぶりの開催となりました。

教室では、市内の高校生が作成した紙芝居を用い、火災が発生しやすい環境と火災の予防方法や、火を扱うときの注意事項等を学習したり、実際に体を動かして、衣服に着火した際の対処方法や、火災時に煙から身を守るための方法を学習しました。教室の最後にはクイズ形式で知識の確認を行いました。



子育て経験者も多い女性ならではのあたたかさで、一方向型ではなく、双方向のコミュニケーションをとりながら、子どもたちが興味を持つような内容・方法にすることを大切に、今後もこの取り組みを続けて参ります。

そして、このような活動を行うことにより、地域全体の防災力が強化されることを目指しております。

火災の発生状況 (速報値)

(秋田県総合防災課調べ)

	平成29年		平成28年			同期比較	
	5月	累計	5月	累計	年計	5月	累計
建 物	18	85	16	95	191	2	-10
林 野	9	17	10	23	32	- 1	- 6
車 輛	5	14	5	16	32	0	- 2
その他	15	35	5	34	56	10	1
合 計	47	151	36	168	311	11	-17
死者数	2	10	1	12	22	1	- 2
負傷者数	3	30	9	30	54	- 6	0

〔情報提供〕由利本荘にかほ支部



トーハツ消防ポンプ
モリタ自動車ポンプ
消防被服全般
秋 田 県 代 理 店

総合防災設備センター

株式会社 高 義 商 会

(営業種目)

- トーハツ小型動力ポンプ
- モリタ自動車ポンプ
- ジェットホース
- 消防被服全般
- 火災報知器各種
- 消火器各種



〒012-0105 本社 湯沢市川連町字万九郎屋布32
TEL(0183)(42)2125
〒012-0844 湯沢市田町 TEL(0183)(73)2588

株式会社 夕 力 吉

秋田県横手市寿町1番28号
TEL (0182)(32)3880
FAX (0182)(32)0839

(営業種目)

- 日本機械自動車ポンプ
- トーハツポンプ
- 各種消防機械器具
- 消防設備保守点検
- キンパイホース
- シバラポンプ
- 各種消火器

ホームページ <http://it-yokote.sakura.ne.jp/>
E-mail ykttkg@jasmine.ocn.ne.jp